

田原小だより

第647号
平成31年1月31日
台東区立田原小学校
校長 白井 正之

大坂選手の優勝に、展覧会の成功を振り返る

副校長 増嶋 広曜

大坂なおみ選手が昨年の全米オープンに続いて全豪オープンで優勝したニュースが日本中を駆け巡りました。世界ランキングも1位という快挙に胸踊る思いをした方も多かったのではないのでしょうか。アメリカのあるマーケティング会社によると世界中のテニスの競技人口が1億1千万人とのことから、大坂選手がいかに凄いことを成し遂げているのかが分かります。全豪オープンでは、決勝の対戦相手が不慮の事故からカムバックし、決勝まで進むというドラマチックな状況でした。相手選手の優勝を期待し、望む声も少なくなかったようです。そのような中であって、大坂選手は試合中に幾多の困難やピンチに涙しながらも、最後は優勝をつかみ取り笑顔を見せました。表彰式では、大坂選手も対戦相手の選手も、お互いだけでなく、観客や大会を支えた多くの人々、自分をサポートしてくれたチームに対して感謝の言葉を表していました。ダイナミックなプレーと併せて、常に謙虚で自然体の大坂選手の言動は多くの人々に愛されており、今後大坂選手を目指してテニスをする子供もますます増えそうです。

さて、田原小学校では、先月展覧会を開催いたしました。多くの方が来校し、田原っ子の意欲的な作品をご覧くださいましたことを嬉しく思っています。学校中を美術館のように変身させ、子供たちの自由な発想で取り組んだ作品でいっぱいに飾りました。また、活動の過程を示したり、子供たちが鑑賞する行い方も工夫したりしました（詳しくは裏面、木本主任教諭の「展覧会を終えて」をご覧ください。）

田原小学校では、展覧会について次の3つのねらいをもって取り組みました。①子供一人一人が日頃の図工の学習の成果を発表し、全体で一つになる喜びを味わうこと。②大きな空間で展示鑑賞することで、一人一人の考えや表現の違いに気付き、それぞれのよさを知ること。③地域や家庭に公開することで、子供の思いや日頃の様子を知ってもらうこと。ねらいを振り返りますと、そこにはテニスの大会に共通することがたくさんあります。展覧会は誰が一番上手なのかを決めるものではない点では、テニスの大会とは異なります。しかしながら、一人一人が精いっぱい「表現」し合った、あるいは、している姿（作品）を多くの方に見てもらう点では共通していると言えます。



表現とは、本来、その表現を伝える「相手」がいなければ成り立ちません。テニスも相手がいなければ成り立ちません。図工の創作活動も同じで、田原っ子たちも多くの方々に見てもらうことで、いつも以上に創作に力が入りました。ご家族もお子さんの表現した「よさや努力」をテニスの返球のように、お子さんに返したことと思います。本当に素晴らしい展覧会になりました。また、開催に当たっては、テニスの大会と同様に多くの方々の支えがありました。この場を借りて感謝申し上げますとともに、みなさまの思いも大切に今後の教育活動の充実に努めてまいります。学校もそのよさを今後さらに「表現」していけるように努力していきますのでよろしくお願いいたします。

展覧会を終えて

図工専科 木本 修

1月17日(木)、18日(金)、19日(土)の3日間、玄関から体育室、屋上まで田原っ子の作品が学校中に展示された展覧会が行われました。保護者の皆様からは、「盛り沢山で見応えがあった。」「子供の多様な表現力に感動した。」「子供が楽しそうに会場内の作品を紹介する姿がよかった。」などたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

今回、実施に当たって新たな取り組みを三つ行いました。一つめは土曜学校公開日に「地域・親子鑑賞日」を設けたことです。当日来てくださった地域・保護者の方々と一緒に会場内を見て回り、作品を紹介する時間を作りました。子供たちは自分の作品だけでなく、友達の作品や他学年の作品まで誇らしげに紹介していました。自校の展覧会の魅力を積極的に広めようとする姿に未来の田原小を背負っていく頼もしさを感じました。二つめは「展覧会を盛り上げようプロジェクト」です。6年生は、展覧会により多くの参観者に足を運んでもらえるように自分たちが作成した展覧会ポスターを学校近隣へ掲示して回りました。自校の行事を自分たちの手で盛り上げていく気持ちが高まったのではないかと思います。ポスターの掲示に快く応じてくださった地域の皆様方、ありがとうございました。三つめは「6年生の学芸員」です。6年生は校内各所の展示場所に学芸員として立ち、通りかかった人に題材の見所やお気に入りの作品、それを選んだ理由を説明しました。相手の目を見て作品を指し示しながら自分の言葉で思いを伝える姿に成長を感じたとともに、これから向かう中学校生活での活躍を期待できました。



この展覧会を通して子供たちは大きな自信と田原小を誇りに思う気持ちが一層もてたのではないかと思います。たくさんのご参観ありがとうございました。

クラブ見学について

クラブ活動担当 一條 公司

1月28日(月)に1月のクラブ活動が行われ、それに合わせて3年生のクラブ見学が行われました。毎年のことですが、3年生の子供たちはみんな期待に胸を膨らませ、生き生きと見学する姿が印象的でした。4・5・6年生が楽しく意欲的に活動する姿から、4月から始まる新たなクラブ活動への期待感がさらに高まっていたようです。異学年の同好の仲間が、助け合い、認め合い、励まし合う中で、友達との絆を深めることのできる有意義な時間になってほしいと思っています。

保護者の皆様方には、何かとご支援いただくこともあると思いますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

文字の動物園

3年担任 渡辺 里奈

1月19日(土)の学校公開の日、謙慎書道会の方に来ていただき、文字の動物園のワークショップを行いました。まずは講師の方の模範揮毫の見学です。だるま筆よりももっと太い筆を使い、墨が飛び散るほどの量で勢いよく書かれる文字に、感嘆の声が上がりました。「書」は古くから芸術として認められてきたというお話を聞き、気持ちが高まったところで今度は子供たちの番です。象形文字のような動物の形の文字から現在の楷書まで、さまざまな動物の文字のお手本を元に、書き順も気にせず自由にのびのびと半紙に書きました。作品は3月17日(日)から東京都美術館に展示されますので、ぜひご覧ください。

塚原体操教室（跳び箱運動）

体育部 海老澤 理咲

オリンピック・パラリンピック教育の一環としてのこの取り組みは、今年で5年目となりました。講師は体操日本代表チームで競技や指導をされてきた方々です。授業は各学級1時間ずつ、跳び箱運動の基礎となる動きを中心に実施しました。まず、基本の動作をしっかりと身に付け、さらに恐怖心を取り除きながら、安全に取り組めるよう、段階を踏んで丁寧に指導していただきました。子供たちは安心して跳び箱運動に挑戦することができ、ぐんぐん上達していきました。最後に堂々とポーズを決める姿は、とても満足そうでした。

毎年継続して取り組むこの教室は、子供たちもとても楽しみにしています。跳び箱は体育の授業の中でも、できるようになった喜びを大人になっても忘れない、記憶に印象深く残る種目の一つではないかと思います。自分でやる楽しさを味わったり、体操競技の選手の技の美しさやダイナミックな動きを見て学んだり、そして応援したり.. 東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けてたくさんの「する・見る・支える」を経験してほしいと思っています。



模擬裁判出張授業

6年担任 川口 治彦

台東区学びのキャンパスプランニング事業の一環として、今年度6年生は模擬裁判の体験学習を行いました。第一東京弁護士会にご協力いただき、教室を法廷に見立て、児童は裁判官、検察官、弁護人となって刑事模擬裁判を行いました。

いくつかある模擬裁判のシナリオから、今回は「上野無銭飲食事件」を扱いました。検察官役、弁護人役、それぞれの児童は、現場見取り図などの証拠書類を基に説明をしたり、証人役、被告人役の教員に尋問したりします。役がある児童は、あらかじめ台本を読んでいたこともあり、間髪入れず「異議あり！」などと本当の裁判のように声をあげる場面もありました。

被告人は有罪か、有罪だが執行猶予を付けるか、または無罪か。傍聴していた児童も裁判官になったつもりで考えます。証拠に基づき、理由と共に、相手を納得させられるように考えて話すことが、今回の授業のポイントでした。一人一人が真剣に考えて、裁判官役の児童がどのような判決を言い渡すのか聞き入っていました。

最後に、当日指導してくださった弁護士の方が筋道を立てて説明することは難しいが、相手が納得できるように話すことが大切であると話してくださいました。授業後のアンケートでは、「相手を印象だけで決めつけてはいけないということを知りました。」と書く児童がいました。裁判の雰囲気味わい、形式を知る体験学習だと思っていたのですが、卒業を前に、児童がこれから多くの人と関わっていく中で考えなくてはならないことも気付かせることができた授業になりました。

生活指導部より

生活指導部 高橋 浩之

2月の生活指導月目標は「体をきたえよう」です。田原っ子たちは、体育の時間になわ跳びや跳び箱、ボール運動の学習に励み、休み時間に寒さも気にせず校庭や屋上で元気に遊ぶなど元気に活動しています。体を動かすことで体力が高まると、病気にかかりにくくなり、かかっても治りやすくなります。また、物事に取り組む力、集中力や粘り強さも高まるそうです。大切なことは、普段の生活の中で体を動かすことです。学校では、体育の時間や休み時間を活用して体をしっかりと動かし、お家では掃除や洗濯、買い物などのお手伝いに取り組むことで体をきたえ、寒い冬を元気に乗り切してほしいと思います。